

令和8年度

事業計画書

札幌市拓寿園

令和8年度 札幌市拓寿園 事業計画

基本方針	法人理念「共生」に基づいて、入居者の個々の生活が尊重され、安心して快適且つ自立した生活を営むことができるよう支援する。入居者の要望等を適切に把握すると共に、きめ細やかな身体的・精神的サポートを実施していく。また、地域との交流を深め福祉ニーズを把握し、公益的な取組みを検討していく。
重点目標	1【処遇】 ・当園や地域の行事などに多くの入居者に参加してもらい、主体性のある生活が送れるよう努める。 ・心身機能に低下が見られる入居者については、個別に福祉制度や介護保険サービス利用のための情報提供や助言に力を入れ、活力ある自主的な生活が営めるよう努める。 ・年1回入居者アンケートを行う。 ・入居者の個別処遇計画に基づいた処遇を心掛け、より豊かな施設生活を継続できるよう努める。 ・入居者の運動機能の向上を図るとともに認知予防に力を入れた活動を行う。 ・「生活学」と題して生活上の必要な知識を学ぶためのセミナーを開催する。 2【健康管理】 ・入居者の定期健康診断を年2回行い、医療機関との連携を密にして医療情報の把握・収集に努める。 ・病気の予防や体力の維持を図るため、パンフレットの配布や全体懇談会で随時啓発を行う。 ・食中毒及び感染症対策や事故防止、虐待防止についての委員会を運営し、その発生の予防に努める。 ・体力の維持、向上と運動機能や認知機能の改善を目的とした事業を毎週実施する。 ・リフレッシュや運動不足解消を目的に、「外出行事」を夏季に実施し健康増進に努める。 3【防災】 ・入居者の防災意識を高める為、火災・地震を想定した訓練を実施すると共に、入居者の身体状況及び職員体制等の条件の中で、防災専門家の助言を受けるなど一層の工夫を講じる。また、居室点検（漏電・ガス）を実施し、リスクの早期発見に努める。 ・防災設備等の老朽化や交換時期等を勘案し、随時交換・修理を図る。また万一に備え、水、非常食等の防災用品を備蓄する。 ・防災用品を用い、年1回使用方法の確認を行い災害に備える。 職員側で非常用電源・ホース・消火器の扱い訓練 入居者側のランタン・ストーブ・非常食について等の学習をする。 4【地域との関わり】 ・地域行事への参加を積極的に推進し、住民との親睦を深め施設に対する理解を広め、地域に根差した老人ホームを目指す。 ・運営協議会を年に一回開催する ・他施設交流を図りながら、広く住民に対して施設の活動などを知ってもらい、知名度の向上を目指す。 ・生活学を地域の方にも開放する。 5【設備管理】 ・建物・備品に関しての老朽化状況や有効期限の確認を行い、都度の判断のもと、然るべき対応を実施する。
主要行事	・お花見、敬老会、忘年会、節分、ひな祭り 誕生日祝い ・カラオケクラブ ・健康診断（年2回）、防災訓練（年3回）、介護予防教室（隔週）、外出行事、ふまねっと運動（隔週）、買い物ツアー、薬湯風呂、音楽の会
研修会等	・基本方針実現のため、内部研修及び外部研修への積極的な参加を図る。 ・同種他施設との交流行事や研究会等を通して、処遇技術等の向上を図る。 ・時代の変化に対応しうる技術や知識の習得に努める。
数値目標	1 入居者数については単身者38名、夫婦1組2名の合計40名、稼働率80%を目標とする。 2【入居率向上の為の方策】 ・地区センターなどに施設見学の日程（月一回を目途）を提示し対応する。 ・ホームページを活用し、空室情報等を発信し施設PRを積極的に行う。 ・法人内各施設、他法人施設、関係機関等との情報交換を密に行う。

令和8年度
収支計画書

軽費老人ホーム

札幌市拓寿園

収入

令和8年度 予算書

科 目		予算額	前年度予算額	増△減額	摘 要 (精算内訳)
〔 経 常 活 動 に よ る 収 入 〕					
老人福祉 事業収入		37,323	37,095	228	
	運 営 事 業 収 入	37,323	37,095	228	
		その他の 事業収入	37,323	37,095	228
寄付金収入		0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	
繰入金収入		0	0	0	
	特 別 会 計 繰 入 金	0	0	0	
	本 部 会 計 繰 入 金	0	0	0	
		本部会計 繰 入 金	0	0	0
		前 年 度 繰 越 金	0	0	0
その他の 収 入		0	9	△ 9	
	雑 収 入	0	9	△ 9	
		その他の 雑 収 入	0	9	△ 9
収入合計		37,323	37,104	219	

支出No.1

(単位：千円)

科	目	予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘 要 (精算内訳)
〔 経 常 活 動 に よ る 支 出 〕					
人件費支出		16,879	16,003	876	
	職員給料支出	11,192	10,735	457	
	本 俸	9,333	9,198	135	
	役 務 手 当	240	180	60	
	業 務 手 当	84	84	0	
	調 整 手 当	0	0	0	
	住 居 手 当	156	96	60	
	扶 養 手 当	378	192	186	
	介護業務手当	260	260	0	
	寒 冷 地 手 当	224	157	67	
	通 勤 手 当	397	448	△ 51	
	時 間 外 休 日	120	120	0	
	職員賞与支出	2,820	2,711	109	
	夏季冬季手当	2,820	2,711	109	
	賃 金	0	0	0	
	嘱 託 医 料	0	0	0	
	退職給付支出	320	320	0	
	退職共済掛金	320	320	0	
	法定福利費 支 出	2,546	2,237	309	
	社 会 保 険 事業主負担金	2,383	2,052	331	
	労 働 保 険 事業主負担金	163	185	△ 22	
	人 件 費 計	16,878	16,003	875	

支出No.2

科	目	予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘要 (精算内訳)
事務費支出		13,067	13,603	△ 536	
	福利厚生費支出	94	58	36	
	職員被服費支出	0	4	△ 4	
	旅費交通費支出	12	10	2	
	研修研究費支出	60	60	0	
	研修研究費支出	60	60	0	
	事務消耗品費支出	600	620	△ 20	
	消耗品費支出	120	120	0	
	器具什器費支出	480	500	△ 20	
	印刷製本費支出	0	0	0	
	水道光熱水費支出	982	977	5	
	電気料支出	650	650	0	
	水道料支出	320	322	△ 2	
	ガス料支出	12	4	8	
	燃料費支出	396	340	56	
	車両燃料費支出	96	70	26	
	その他燃料費支出	300	270	30	
	修繕費支出	1,200	1,800	△ 600	
	管理用修繕費支出	1,200	1,800	△ 600	
	通信運搬費支出	382	375	7	
	広報費支出	0	4	△ 4	
	業務委託費支出	7,888	7,563	325	
	清掃委託費支出	1,123	1,200	△ 77	
	その他委託費支出	6,765	6,363	402	
	手数料料支出	12	120	△ 108	
	保険料支出	146	177	△ 31	
	貸借料支出	290	287	3	
	租税公課支出	45	45	0	
	保守料支出	812	1,042	△ 230	
	諸会費支出	94	82	12	
	雑支出	54	40	14	
	事務費計	13,067	13,603	△ 536	

科	目	予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘要 (精算内訳)
事業費支出		7,044	7,002	42	
	医薬品費支出	60	65	△ 5	
	保健衛生費支出	984	1,032	△ 48	
	教養娯楽費支出	1,500	1,460	40	
	教養娯楽費支出	1,500	1,460	40	
	福祉費支出	0	0	0	
	水道光熱費支出	1,680	1,555	125	
	電気料支出	480	355	125	
	水道料支出	1,200	1,200	0	
	ガス料支出	0	0	0	
	燃料費支出	2,300	2,430	△ 130	
	車両燃料費支出	0	0	0	
	その他燃料費支出	2,300	2,430	△ 130	
	消耗器具備品費支出	420	460	△ 40	
	その他消耗品費支出	420	360	60	
	器具什器費支出	0	100	△ 100	
	雑支出	0	0	0	
固定資産取得支出		0	350	△ 350	
	建物取得支出	0	350	△ 350	
	構築物取得支出	0	0	0	
	器具及び備品取得支出	0	0	0	
ファイナンスリース債務の返済支出		0	0	0	
	ファイナンスリース債務の返済支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出		100	146	△ 46	
	拠点区分間繰入金支払	100	146	△ 46	
支出合計		36,989	37,113	△ 124	

令和8年度 札幌市拓寿園 自主事業計画書

令和8年1月26日

札幌市拓寿園(軽費老人ホーム)の管理業務を実施するうえで、入居されている方の通信連絡手段の提供を目的として以下の事業を行う。

1 公衆電話の設置

(1) 目的

通信手段を持たない入居者の通信手段の提供を行うことを目的とする。

(2) 事業内容

公衆電話を設置し、有料で提供する。

(3) 利用料金

利用料金は10円硬貨又は100円硬貨での利用。

(4) 設置期間

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年度 札幌市拓寿園 自主事業収支計画書

公衆電話の設置に係る令和8年度の収支計画は次の表のとおりとする。

(円)

項目	予算額	適用
収入		
公衆電話利用料収入	1,000	
収入計	1,000	
費用		
公衆電話設置費用	400	目的外使用料金
通信費	800	通話料は収入の8割で計算
電気料	4,296	15Wh × 365日
費用計	5,496	
収支差額	(4,496)	